



地域へ飛び込む職員プロジェクトとは？



令和3年度より開始された

若手職員対象(入庁1~10年目)の市民協働研修事業

目的

多様化する地域課題・市民ニーズに対して、**市民協働の視点**を持って課題解決に向けて自ら考える力を養うとともに、「**積極的に地域に関わり、市民と連携して行動する職員**」を育成すること

なぜ地域へ飛び込む必要があるの？

小美玉市第2次総合計画



「ひと」の地域が
「き」を
「はばたく」
「ダイヤモンドシティ」
「見つける、
みがる、
先をみる。」

—概要版—
平成30年3月



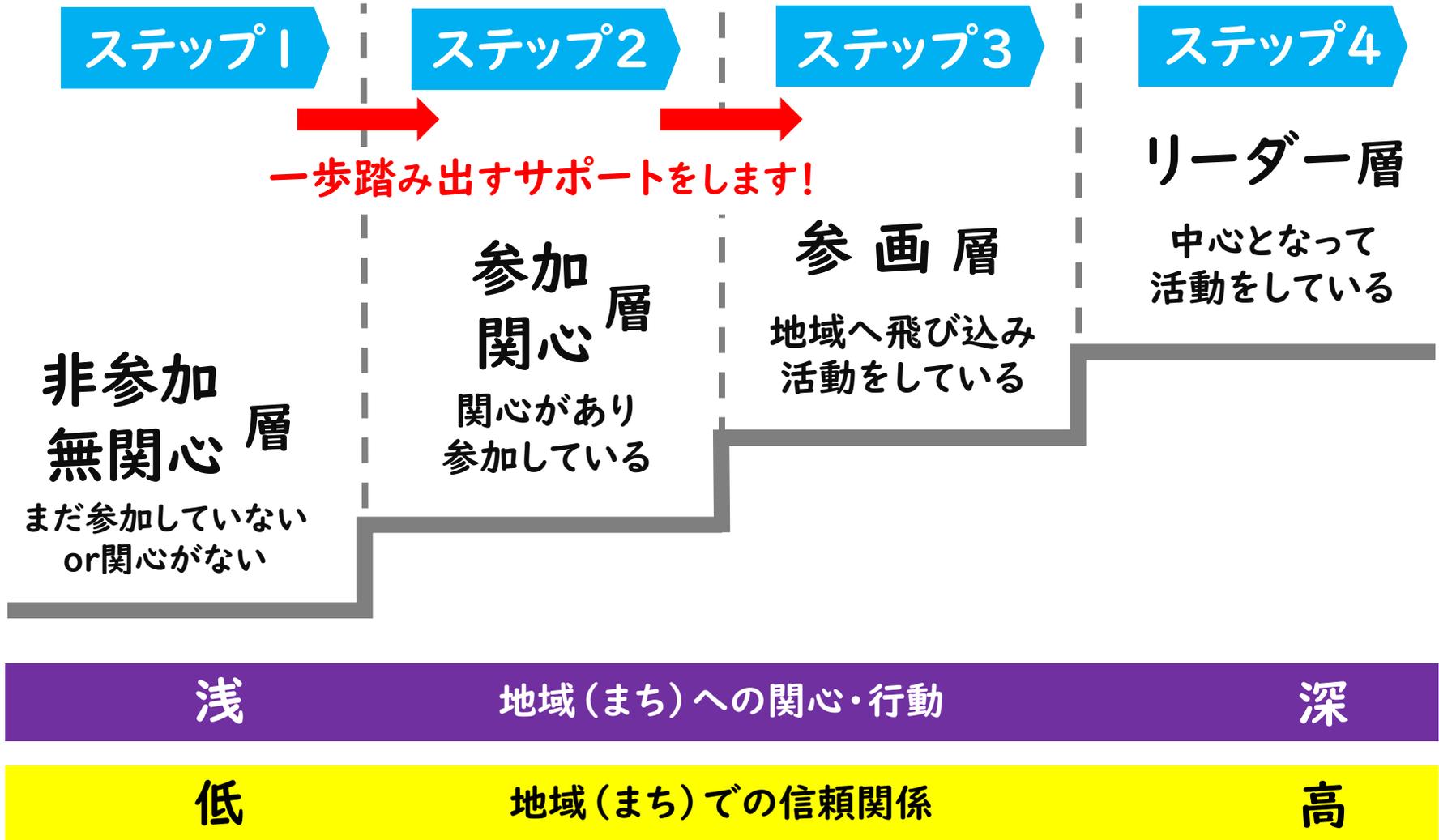
人口減少、少子高齢化など、地域課題が多様化・深刻化するなか、将来にわたって**持続可能なまちづくり**の実現のためには、**地域が抱える課題やニーズ**に対して、**職員や地域住民自らが把握し協力して解決**することが求められ、ますます**市民協働のまちづくりの推進**が必要となっている。

【小美玉市第2次総合計画より】

【第2期小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略より】

市民協働課として、**地域と市役所内部に市民協働の視点を広げていくことが大切**

地域へ飛び込む人財ビジョン(市民協働課作成)



参加イベントについて

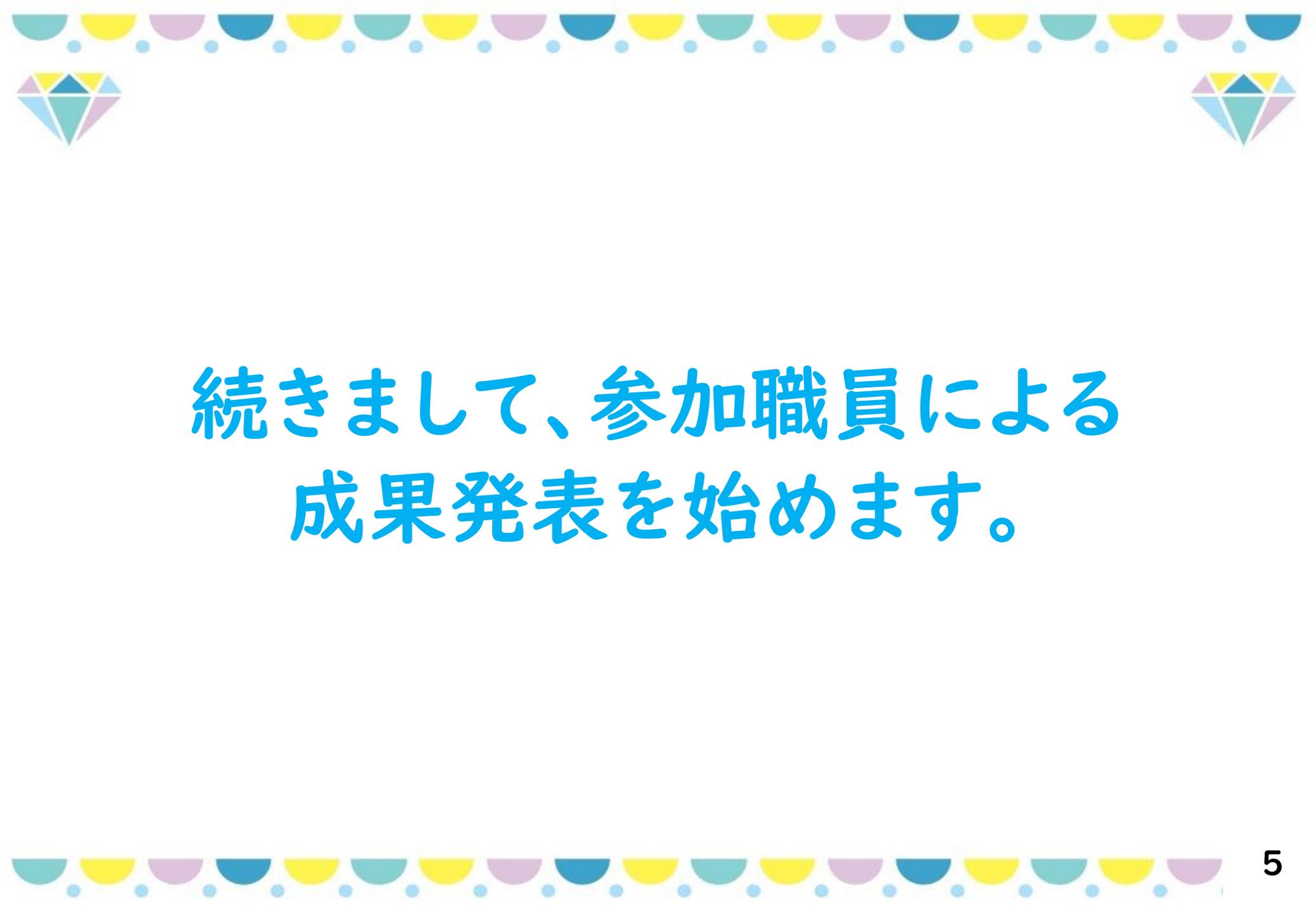


名称 三世代交流事業

日程 令和5年11月26日(日)

内容 ボッチャ、ユニカール等
様々なスポーツを実施

場所 小川運動公園



続きまして、参加職員による
成果発表を始めます。



参加したきっかけ

- ①地域の方々との交流を深めたい
- ②地域の方々と顔見知りになり
日頃の業務に役立てたい
- ③地域の方々と一緒にイベントを
つくることに興味を持った



職員会議の様子



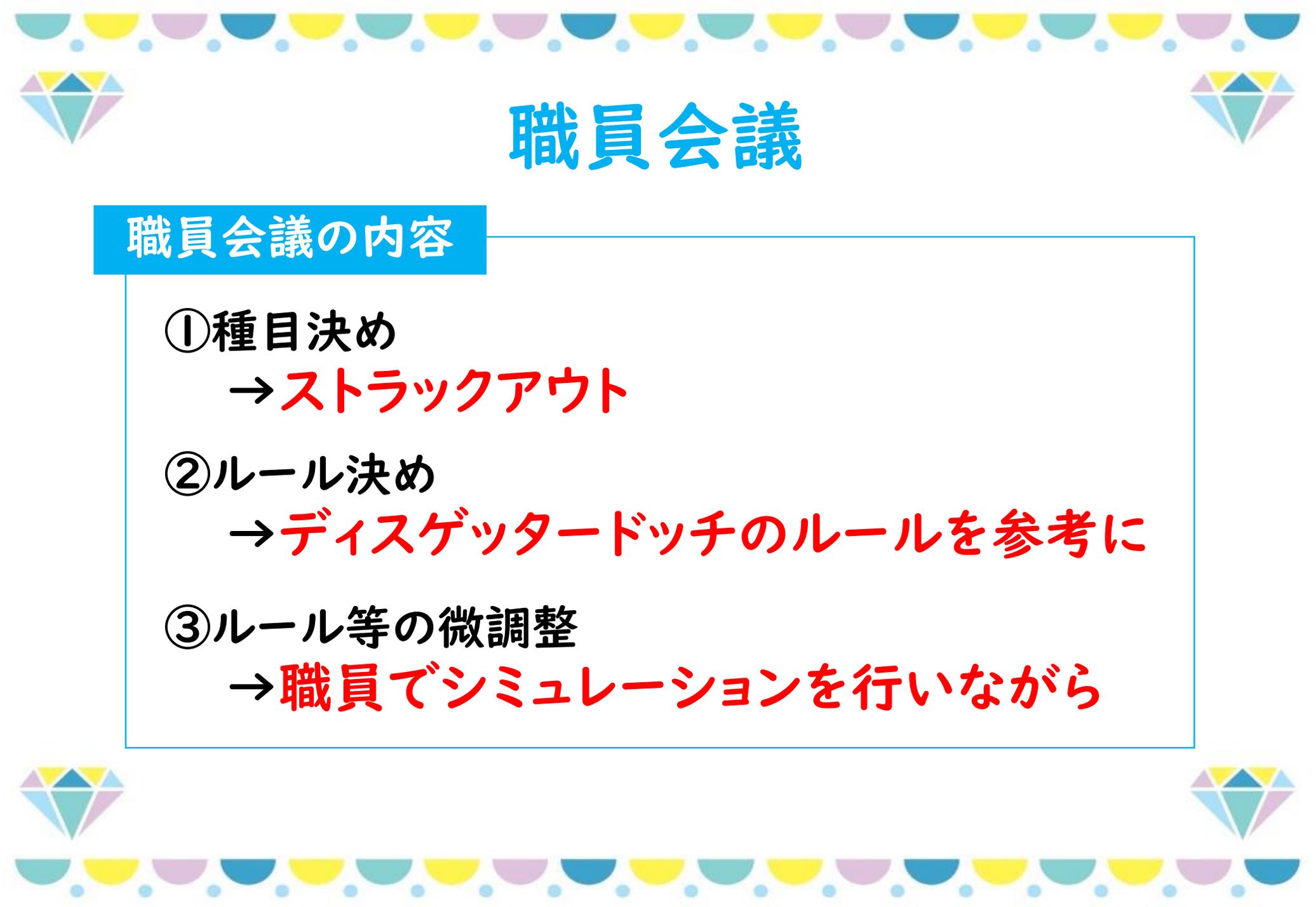
顔合わせ

事業説明やコミュニティのことについて共有しました。



アイスブレイク

レクリエーションを交え、一緒に参加する職員と交流を深めました。



職員会議

職員会議の内容

- ①種目決め
→ **ストラックアウト**
- ②ルール決め
→ **ディスゲッタードッチのルールを参考に**
- ③ルール等の微調整
→ **職員でシミュレーションを行いながら**



職員会議

主に変更したルール

- ・目的

公式ルールでは競うのが目的だが、楽しむことを一番に考え、「より高得点を目指す」をコンセプトにし、得点結果表を渡すなどした。

- ・投げる距離

投げる距離は2.5m/3.0m/4.0m/5.0mとした。

年齢に応じて距離を設定した。

チャレンジ難易度として10mを追加した。



職員会議

職員会議の内容

- ①種目決め
→ストラックアウト
- ②ルール決め
→ディスゲッタードッチのルールを参考に
- ③ルール等の微調整
→職員でシミュレーションを行いながら



コミュニティ役員会



①9月と10月に実施された役員会に参加

②当日の運営や準備について協議

参加者第一に、役員皆さんで
意見を出し合っていたのが印象的でした。

三世代交流事業（種目）

体育館

- ラダーゲッター
- ボッチャ
- ユニカール

屋外

- スリッパ飛ばし
- タマゴで橋渡し
- 三輪車競争
- グラウンドゴルフ
- **ストラックアウト**

職員チーム担当種目

三世代交流事業（当日の様子）



**職員とイベントを楽しむ
参加者の皆さん**

当日はイベント名の通り
様々な方が参加し、世代を超えて
楽しんでいました。

三世代交流事業（会場の様子）

体育館



ラダーゲッター



ボッチャ



ユニカール

三世代交流事業（会場の様子）

屋外



スリッパ飛ばし



タマゴで橋渡し



三輪車競争



グラウンドゴルフ

様々なレクリエーションが展開

小川運動公園全体を活用し、時間いっぱいまで楽しめるイベントでした。

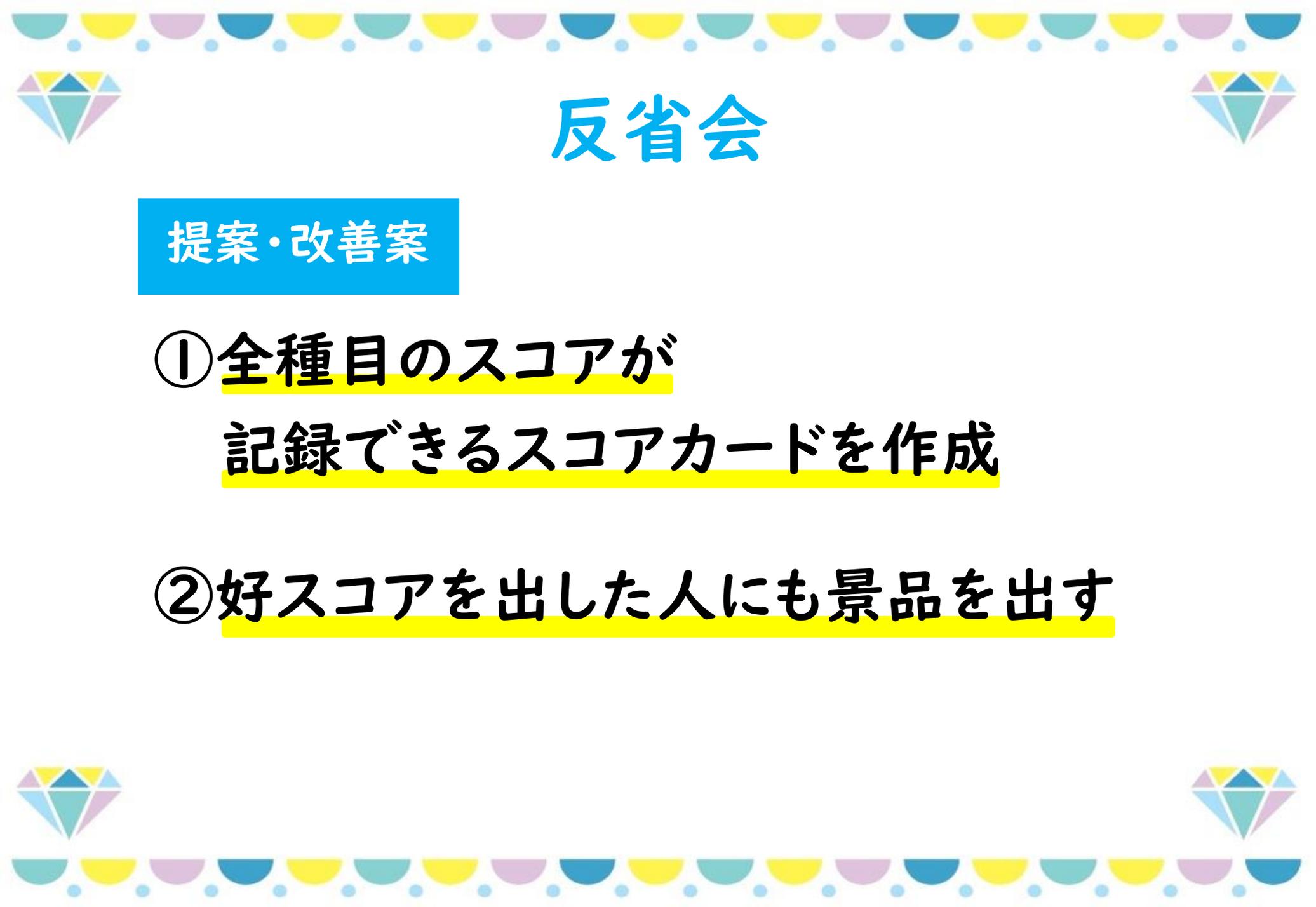
反省会

反省点

- ①事前の告知が不十分だった
- ②地域ごとの協力員や参加者数に偏りがあった



3月3日(日)に実施した
たちばなコミュニティ役員会



反省会

提案・改善案

- ① **全種目のスコアが**
記録できるスコアカードを作成
- ② **好スコアを出した人にも景品を出す**



事業を振り返って



- ① 会議では**世代の垣根を超えて**
地域住民が交流出来るよう議論した
- ② **幅広い年代の人が来場し**
レクリエーションを楽しんでいた

